

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2018 (平成 30) 年 第 33 週 (8 月 13 日～8 月 19 日)

今週のコメント

～RS ウイルス感染症～手洗いが重要

定点把握感染症

「RS ウイルス感染症 今後も注意を」

第 33 週の報告の解釈には、お盆期間による診療実日数と診療機関の減少を考慮する必要がある。

第 33 週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は 1,570 例であり、前週比 18.9%減であった。定点あたり報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、RS ウイルス感染症、ヘルパンギーナ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病の順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 2.5、1.8、1.1、0.7、0.7 であった。

感染性胃腸炎は前週比 13%減の 494 例で、泉州 4.3、大阪市西部 3.5、大阪市北部 3.4、南河内 3.3 である。

RS ウイルス感染症は 10%減の 351 例で、大阪市北部 5.0、南河内 2.7、大阪市西部 2.2、堺市 2.0 であった。

ヘルパンギーナは 31%減の 228 例で、大阪市北部 2.5、北河内 2.1、大阪市西部 1.8、南河内 1.7 である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 32%減の 146 例で、泉州・中河内 1.0、堺市・南河内・大阪市西部 0.9 であった。

手足口病は 27%減の 133 例で、泉州 1.3、大阪市西部 1.2、北河内・堺市 1.1 である。

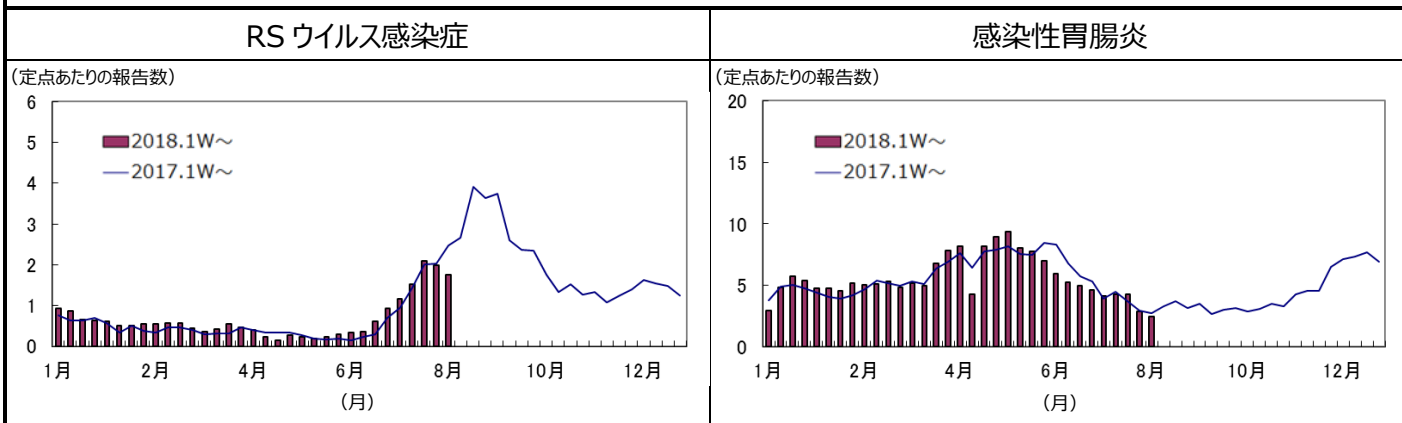


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2018 (平成 30)年 第 33 週 8 月 13 日-8 月 19 日)

第 33 週 の順位	第 32 週 の順位	感染症	2018 年 第 33 週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2017 年 第 33 週の 定点あたり 報告数	2018 年 第 33 週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.5	13%減	2.7	1 歳_15%
2	2	RS ウイルス感染症	1.8	10%減	2.5	1 歳_44%
3	3	ヘルパンギーナ	1.1	31%減	0.8	1 歳_33%
4	4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.7	32%減	0.9	4 歳_15%
5	5	手足口病	0.7	27%減	2.5	1 歳_35%

第 33 週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものは O(オー)157、O26、O111 がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5 日の潜伏期をにおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは 37℃ 台である。有症者の 6-7% では、発症数日後から 2 週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[感染症の話\(国立感染症研究所\)](#)

(累積報告数)

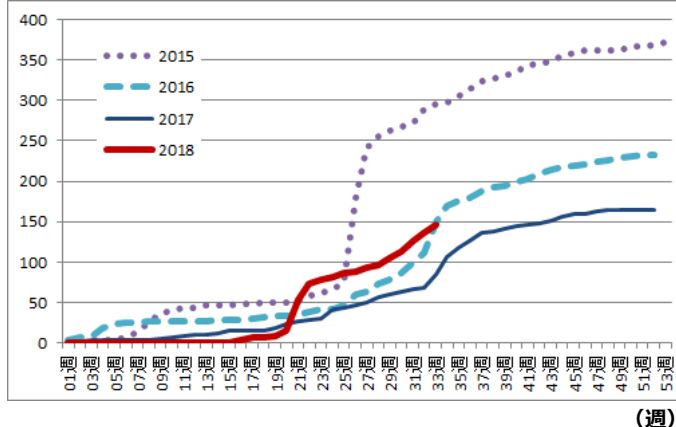


表 2. 大阪府全数報告数 (2018(平成 30)年 第 33 週 8 月 13 日 - 8 月 19 日)

*) 注意 : この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

	疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11	4	1	1	1		2		2	147
4 類感染症	A 型肝炎	2								2	31
	デング熱	1			1						9
	日本紅斑熱	2							1	1	4
	レジオネラ症 (肺炎型)	2			1		1				77
5 類感染症 (麻しん、風しんは除く)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3								3	107
	急性脳炎	1				1					20
	後天性免疫不全症候群	1				1					92
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1				45
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1						1		188
	水痘 (入院例)	1							1		18
	梅毒	4				1		1		2	735
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1		16
百日咳	13	1		4	3	2	1		2	400	
結核 (2018 年 6 月分)	結核 新登録患者数 : 165 名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 68 名) (府内累積報告数 913 名、内 肺・喀痰塗抹陽性 335 名)										
麻しん、風しん	報告はありません										

(2018 年 8 月 21 日 集計分)